

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和7年9月）

## 《今月のトピックス》

- 百日咳の報告が依然多い状態です。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に幅広い年齢層で患者が多く発生し、10歳代の報告もみられます。妊婦の報告も複数みられます。
- RSウイルス感染症の報告が増加しています。

## ◇ 全数把握の対象 <2025年8月25日～9月21日に報告された全数把握疾患>

細菌性赤痢	1件	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1件
腸管出血性大腸菌感染症	30件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
日本紅斑熱	1件	水痘(入院例に限る)	1件
レジオネラ症	7件	梅毒	32件
アメーバ赤痢	1件	百日咳	155件

1. **細菌性赤痢**: 50歳代で、感染経路はその他(河川での遊泳)、感染地域はインドネシアと推定されています。
2. **腸管出血性大腸菌感染症**: 10歳未満～70歳代で、O血清群はO157が24件、O26、O103、O111がそれぞれ1件、O不明が3件です。感染経路は経口感染と推定される報告が10件、接触感染と推定される報告が2件、経口感染・接触感染と推定される報告が1件、経口感染・動物等からの感染が推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が16件です。
3. **E型肝炎**: 50歳代で、無症状病原体保有者です。感染経路等は不明です。
4. **デング熱**: 10歳代で、感染経路は海外(フィリピン)での蚊からの感染と推定されています。
5. **日本紅斑熱**: 50歳代で、感染経路は三重県・神奈川県での昆虫等からの感染と推定されています。
6. **レジオネラ症**: 50歳代～80歳代で、肺炎型が7件です。感染経路は水系感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が5件です。
7. **アメーバ赤痢**: 60歳代で、腸管アメーバ症です。感染経路は経口感染と推定されています。
8. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**: 50歳代で、感染経路は医療器具関連感染と推定されています。
9. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: 10歳未満及び70歳代で、血清型はいずれもA群です。創傷感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件です。
10. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**: 70歳代で、無症状病原体保有者です。感染経路は性的接触(異性間)と推定されています。
11. **侵襲性肺炎球菌感染症**: 10歳未満～90歳代(ワクチン接種歴4回1件、無1件、不明2件)で、感染経路は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が2件です。
12. **水痘(入院例に限る)**: 10歳未満(ワクチン接種歴2回)で、感染経路等は不明です。
13. **梅毒**: 10歳代～80歳代で、早期顎症梅毒I期15件、早期顎症梅毒II期8件、無症状病原体保有者9件です。性的接触による感染と推定される報告が27件(異性間19件、同性間4件、詳細不明4件)、感染経路等不明が5件です。
14. **百日咳**: 10歳未満～90歳代(ワクチン接種歴5回1件、4回53件、3回4件、2回1件、1回1件、無10件、不明85件)で、家族内感染と推定される報告が36件、周囲の流行と推定される報告が15件、家族内感染及び周囲の流行が推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が102件です。

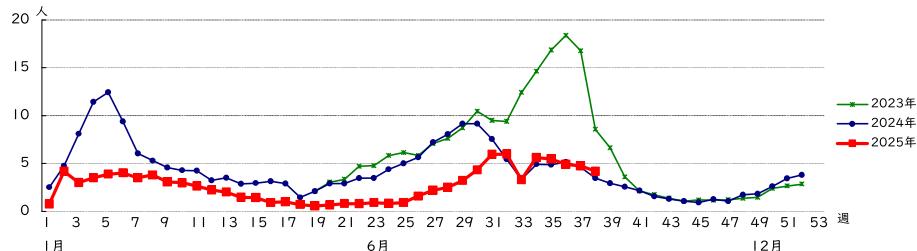
## ◇ 定点把握の対象

※ 2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、小児科定点は94→51、内科定点は59→39 医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2025年第35週	8月25日～8月31日
第36週	9月1日～9月7日
第37週	9月8日～9月14日
第38週	9月15日～9月21日

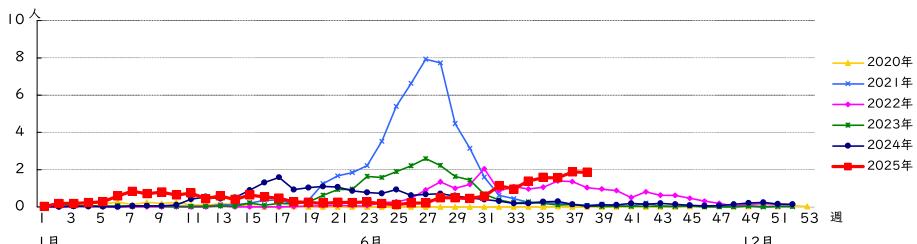
## 1 新型コロナウイルス感染症

2025年第25週(6月16日～6月22日)以降増加傾向に転じ、第31週以降はおおむね横ばいから緩やかに減少しています。第38週は4.19です。



## 2 RSウイルス感染症

2025年第26週(6月23日～6月29日)以降増加傾向となり、第38週は1.86です。



## 3 性感染症(2025年8月)

性器クラミジア感染症	男性:34件	女性:19件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:14件	女性:12件
尖圭コンジローマ	男性:24件	女性: 0件	淋菌感染症	男性:13件	女性: 5件

## 4 基幹定点週報

	第35週	第36週	第37週	第38週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.50	0.00	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.50	1.00	0.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

## 5 基幹定点月報(2025年8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
葉剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2025年第35週～第38週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点 115件、小児科定点 6 件でした。

10月7日現在、表に示した各種ウイルスの分離 5 株及び遺伝子 36 件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025年第35～第38週)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状等		上 気 道 炎	下 気 道 炎
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	1			
	11			
インフルエンザウイルス AH1pdm09	1			
	-			
RSウイルス	-		-	
	7		3	
パラインフルエンザウイルス 3型	-			
	1			
アデノウイルス 2型	-		1	
	1		-	
アデノウイルス 3型	1			
	-			
アデノウイルス 54型	-			
	1			
ヒトメタニューモウイルス	-			
	1			
ライノウイルス	-		-	
	5		2	
ライノウイルスまたはエンテロウイルス	-			
	4			
コクサッキーウイルス A16型	1			
	-			
合 計	4		1	
	31		5	

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウィルス担当 】

## 〈細菌検査〉

2025年第35週～第38週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症25件、細菌性赤痢1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3件、侵襲性肺炎球菌感染症2件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1件、菌血症(メタロβ-ラクタマーゼ産生 *Achromobacter* sp.1件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症7件、レプトスピラ症疑い2件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎5件、「ARI定点」から3件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025年第35週～第38週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
			O157 : H7	VT1 VT2 (5)
			O157 : H7	VT2 (11)
			O157 : H-	VT1 VT2 (2)
		25	O157 : H-	VT2 (1)
			O103: H2	VT1 (4)
			O26 : H11	VT1 (1)
			O111 : H-	VT1 VT2 (1)
	細菌性赤痢	1	<i>Shigella sonnei</i> II相	(1)
保健所	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	A群溶血性レンサ球菌 T4型	(2)
			A群溶血性レンサ球菌 T型別不能	(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 6c型	(1)
			<i>Streptococcus pneumoniae</i> 24B型	(1)
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	<i>Klebsiella aerogenes</i>	(1)
	菌血症	1	<i>Achromobacter insolitus blaIMP-1</i>	(1)
分離同定	項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所	レジオネラ症	7	喀痰	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2) レジオネラ属菌培養 隆性 (5)
	レプトスピラ症疑い	2	尿・血液	レプトスピラ遺伝子陰性 (2)
小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	A群溶血性レンサ球菌 T4 (3)
				A群溶血性レンサ球菌 T12 (1) 培養 隆性 (1)
ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	3	百日咳菌遺伝子 隆性 (3) 肺炎マイコプラズマ遺伝子 隆性 (3) 溶血性レンサ球菌 培養 陽性 (1) 溶血性レンサ球菌 培養 隆性 (2)

【微生物検査研究課 細菌担当】